



令和3年10月号

自分への振り返りとして

- ①目の前にいる子どもの5年後・10年後・20年後を思い浮かべながら今に向き合う。
- ②可能性を広げ、選択肢を増やし、自己選択・自己決定に繋げる。
- ③自分を知り、自分を認める。

上記の事は、私が子どもたちと関わる中で大切にしている指針の中の一部です。様々な場面で言い続けており、職員の中には聞き飽きてしまった人もいるかもしれませんが、自分自身に言い聞かせる意味も込めて言い続けています(笑)。という事で、今回は自分自身の振り返りも含めての文章です。

- ①、子どもの計画書や活動を考える時に大切にしている事になります。私たちが活動や計画書を考える時の手順として、どうしても今の課題や苦手な事からスタートをしてしまいがちです。しかし、それではマイナスからのスタートになってしまい、苦手な事ばかりに向き合う事になります。そうではなく、将来の姿をイメージする事で、その姿に向かって得意な事を活かして行ける様に支援を組み立てています。
- ②、大人になった時に自分の人生を自分で決めて行く為に、自己選択・自己決定の手段や方法をその子が実行しやすいやり方を一緒に考えています。その子の将来の可能性や選択肢の幅を広げる事で、選べる環境を作った上で選んでもらいたいと考えています。人によっては、選択・決定を一人でする事が難しい場合もあると思います。その時には、よりサポートが受けられやすい環境作りや手段も身に付けて行ける様に支援をします。
- ③、自分の事は分かっている様で分からない事だらけです。場合によっては自分自身の事が一番わからないという事もあるでしょう。子どもたちには、自分の得意な事・好きな事・興味がある事、苦手な事、嫌いな事…様々な事を知ってもらいたいと考えています。その上で、どんな自分でも認めて欲しいです。その為にも、私自身が子どもたちの今の姿を認めて行きながら「それでも良いよ」「そのままでも良いよ」というメッセージを発信したいと考えています。今を認める所からスタートをして、その上で得意な事を活かしながらどの様に成長をして行けば良いのかを考えて行きます。

面談という短い時間の中では伝えきれない事もたくさんあります。それでも、私たちが子どもをどの様な視点で見ている、何を目指して行っているのかを共有する場として大切にしています。年2回の定期面談となっておりますが、皆様のご希望があればこの期間以外にも面談を組む事が出来るので、何か気になる事や確認をしたい事などあればお気軽にお声がけ下さい。

嵯峨憲司



1部：zoom交流

MJ所沢とZOOMを使って交流を行い、お題に沿って皆で動きを揃えるゲームや万歩計フリフリ等zoom越しでも楽しめるゲームを行っています。



ハンドメイドバザーに向けて、ハーバリウムやアクアリウム、レジンキーホルダー作成を行いました。当日、1部の子達からは**大人気**商品でした。

2部：ハンドメイドバザー



事業所からのお知らせ

1部 曜日別プログラム

月曜日：情報機器 火曜日：体幹 水曜日：作業

木曜日：身だしなみ 金曜日：生活

2部→第2回(11/23) ハンドメイドバザーに向けての商品作成